

高志中等教育学校を最高の学びの環境、学校に

～令和3年度終業式に寄せて～

1年前、終業式の日、時差登校でした。

離任式は書面によるものでした。

あれから、1年がたち、世界は大きく変わっています。

コロナウイルス感染者数をみれば、新潟市は、1年前より増えています。

一都三県の緊急事態宣言は解除されたものの、宮城、岩手など東北方面では感染拡大が顕著で、未だ終息の兆は見えません。

WITH コロナの一年間、高志中等教育学校では、じっと耐えるのではなく、今できる最善の、最高の活動、取組を工夫してきました。新しい発想によるデジタルコンテンツによる文化芸術発表会、リアルとリモートを組み合わせたユネスコ講演会、リモートのよさを生かしたアメリカ在住の映像クリエイターの方との交流、多彩な専門家を招いての土曜活用講座、総合・探究学習の成果の発表会、規約改正を踏まえての生徒会活動の推進、鳥屋野潟に着目したSDGs活動など新たな取組もスタートしています。

思考力は、思考しなければ育たない、判断力は判断しなくては育たない、表現力は表現しなければ身につかない、そして、それが育っているか、身につけているかは、実際にそれらが必要とされる場面で、発揮できるかでしか評価もできないというのが、最新の学習理論です。2018年のセンター試験の国語で、「アフォーダンス」という概念についての論説文が出題されましたが、これは、ざっくりいうと「人とモノとの間に存在する関係そのもの」「環境が動物に与える意味」ということで、「知識は状況に埋め込まれており、それと関わる主体との間に生成される」という状況学習理論の基盤となる考え方です。

机に向かって、参考書や問題集を使っての学習だけでは、机に向かって問題に答えるだけの学力しかつかない、それではいけないというのが世界の潮流であり、大学入試改革の中核となる論点の一つです。

先日行われた、総合・探究の発表会での4年生の振返りの結果が、学年だよりに掲載されていました。「充実したものだっただ」「ある程度充実したものだっただ」の合計は、93.0%でした。非常に高い数値だと思います。全員がポスター発表し、その後、質疑応答を受けるといった発表形式は、現在、多くの学会などでも行われているもので、今後、大学選抜、入社試験などでも、求められるプレゼン能力を引き出す状況であったと思います。肯定的な評価の理由に多くは、「多彩なテーマがあり、興味深く発表を聞いたり、議論できた」「たくさん学ぶことができた」「自分の考えをうまく発表できた」というものでした。一方で、「あまり充実したものではなかった」という4.7%の人たちの理由も注目に値します。「指定見学者しかいないところがあった」「ベストの発表ができなかつ

た」「結論が中途半端になってしまった」、これらの理由は、とても前向きな指摘であり、よりよい発表を準備することや発表会のよりよい在り方を考えるヒントでもあります。

自分でテーマを設定し、調査・研究し、情報処理をして、まとめ、発表する。まさに、大学や企業の研究所が行う調査・研究のような状況の中で、試行錯誤しながら学ぶのです。自分の研究とは無関係なテーマでも、聞いているうちに、興味がわいてきたり、その調査方法やまとめ方、発表の仕方について参考になったりします。まさに、みんなが一所懸命に取り組めば取り組むほど、わくわくと楽しみながら取り組め取り組むほど、その環境は、あなたに、素敵な意味や知識を生み出してくれます。

コロナウイルス感染拡大という状況の中でも、人々は、その状況とかわり、Uber Eats などの宅配ビジネスを考案したり発展させたりして、ZOOM などオンラインによる会議や在宅勤務など新たな働き方を進めてきました。三密を避ける、マスクの着用、うがい手洗いなどの新しい生活様式は、インフルエンザの流行を劇的に抑えました。どんな環境、状況の中でも、人間は、それとかわり、新たな知や意味を見出し、学ぶ力をもっているのです。

そうやって考えてみると、学校もまた、拡張された環境の一つです。仲間や教職員、保護者、地域の方、様々なかかわりの中で、みなさんは学びます。「かかわる」という能動的な行動、姿勢が、より多くの学びをもたらしてくれます。そして、また、みなさん一人一人が、また、誰かの環境の一部にもなっているのです。意欲的な人たちの環境の中でかかわれば、そこからエネルギーを得ることができるでしょう。多様性を認めてくれる環境の中で学べば、のびのびと自分を発揮したり、違いから学ぶイノベーションのチャンスをたくさん得たりすることでしょう。真剣にかかわれば、かならず衝突や摩擦も起きます。そうしたリアルな課題に対して、思考し、判断して、表現し、かかわり、よりよい最適解を創造していく。高志中等教育学校は、まだ、若い学校です。どんどん進化、発展している学校です。みなさん一人一人が、仲間を高め、豊かにしていく存在になれることに、誇りをもってほしいと思うのです。

一人一人が、自信をもって、自分を誇れるならば、高志中等教育学校は、最高の学びの環境、学校となるはずです。春休み、この一年の学びと成長と、仲間・環境について振り返り、今なすべきこと、できることに積極的に取り組み、4月からよりよいスタートが切れるようにしてほしいと思います。